

授業科目名	【G】 プレゼミⅡ	区分	必修	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	現代社会の諸問題を法学の視点から議論する			担当者	田中 秀典			
授業概要	【概要】	新聞記事などを用いて、現代社会の様々な問題について発表・議論する。						
	【到達目標】	発表・議論に慣れること、そのために必要な事柄を習得すること、社会の様々な問題に興味をもてるようになること、それらについて法学的に考える姿勢を身につけること、を目標とする。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	特になし。							
教科書	特に指定しない。							
参考書	新聞など。それ以外は必要に応じて紹介する。							
評価方法	授業への参加姿勢、課題への取り組み状況など、平常点(100%)。							
フィードバック方法	発表等に対してコメントする。							
評価基準	授業に積極的に参加し、内容を理解して適切に表現できた者は「S」または「A」とする。内容の理解やその表現に不十分な点がある場合は程度に応じて「B」または「C」とする。内容の理解自体が不十分な場合はその程度に応じて「D」または「E」とする。評価不能な場合は「F」とする。							

授業 科目名	【G】 プレゼミⅡ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必 修				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の数回で、発表のために必要な事項について確認する。 ・授業回ごとの担当者を決めて毎回数名に発表してもらい、それにもとづいて主に法学的な(あるいは政治学的な)視点から議論を深める。担当者だけでなく、全員がよく思考し、積極的に質問をする姿勢が必要となる。 ・各担当者には、時事的な問題の中からテーマを選択して発表の準備をしてきてもらう。そのためには、レジュメの作成などの直接的な作業はもちろんのこと、普段から新聞をよく読んだり、そこにある問題についてよく考えるなど、日々の取り組みも重要となる。 					
予習内容	発表資料(レジュメ)の作成とそのための準備 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。					
復習内容	不明点などの再検討 授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。					
その他	授業を休まず、かつ遅刻せずに出席して、発表の準備や課題に積極的に取り組み、進んで議論に参加すること。					